

商業科 学習指導案

単元名		第9章 総合原価計算 「原価計算」 (新科目名: 原価計算)	
単元の目標 (単元で育成する資質・能力)		①原価の部門別計算と製品別計算について理論と実務とを関連づけて理解するとともに、関連する技術を身につけること。 ②原価の部門別計算と製品別計算の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。 ③原価の部門別計算と製品別計算について自ら学び、適正な原価の部門別計算と製品別計算による適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。	
具体的な評価規準			
知識・技能		思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
・平均法および先入先出法による月末仕掛品原価の計算ができる。 ・原価計算表の作成を行うことができる。 ・取引に必要な仕訳ができる。		・個別原価計算と総合原価計算との違いを理解することができる。 ・総合原価計算の種類を理解することができる。 ・製造着手のときにすべて投入される場合、製造の進行に応じて投入される場合の考え方を理解し、演習問題に対して判断・表現することができる。	・資料を読み解く力を身につけ、活用しようとしている。 ・グループ学習において、主体的に話し合うことができ、自分の考えを表現しようとしている。 ・友人との対話を積極的に行い、課題解決に向けた取り組みをしようとしている。
単元計画			
次	時	評価規準と評価方法	学習活動
1 2 3	1	【評価規準】 個別原価計算と総合原価計算の違いやその種類について理解することができる(思考力・判断力・表現力) 【評価方法】 行動の観察	個別原価計算の特徴やその処理方法を思い出し、総合原価計算との違いを考える。また、総合原価計算の種類について学習する。
4	1	【評価規準】 平均法による月末仕掛品原価の計算を行うことができる。 ・素材が製造着手のときにすべて投入される場合 ・素材が製造の進行に応じて投入される場合 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】 行動の確認・記述の確認	製造工程における加工進捗度の考え方を理解する。また、グループ学習において周囲と協力しながら、平均法での計算により月末仕掛品原価を求める。
5	2	【評価規準】 先入先出法による月末仕掛品原価の計算を行うことができる。 ・素材が製造着手のときにすべて投入される場合 ・素材が製造の進行に応じて投入される場合 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】 行動の確認・記述の確認	製造工程における加工進捗度の考え方を理解する。また、グループ学習において周囲と協力しながら、先入先出法での計算により月末仕掛品原価を求める。
6	3	【評価規準】 単純総合原価計算表の作成およびその記帳法について解くことができる。 (思考力・判断力・表現力) (主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】 行動の確認・記述の確認	単純総合原価計算表の作成を行う。また、表の作成にもとづいて、必要な仕訳を行う。
7	4 5	【評価規準】 等級別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と等級別総合原価計算のしくみを理解し、等級別総合原価計算表を作成できる。 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】 行動の確認・記述の確認	どのような業種で用いられている原価計算方法か考える。等価係数、積数等の言葉を理解し、等級別総合原価計算表の作成を行う。また、表の作成にもとづいて、完成品原価の仕訳を行う。
8	6 7	【評価規準】 組別総合原価計算が用いられる製造業の特徴と組別総合原価計算のしくみを理解し、組別総合原価計算表およびその記帳法について解くことができる。 (知識・技能) (主体的に学習に取り組む態度) 【評価方法】 行動の確認・記述の確認	どのような業種で用いられている原価計算方法か考える。組間接費を示された配賦基準により配賦額を求める。組別総合原価計算表の作成を行う。また、表の作成にもとづいて、完成品原価の仕訳を行う。